

平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 平成30年6月18日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	52,428	1.1	1,840	△1.8	2,051	△1.1	1,335	△2.4
29年9月期第2四半期	51,848	3.0	1,873	39.6	2,075	32.8	1,369	66.0

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 1,347百万円 (△7.1%) 29年9月期第2四半期 1,450百万円 (97.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	123.76	—
29年9月期第2四半期	126.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	57,655	26,299	45.6	2,434.78
29年9月期	56,011	25,059	44.7	2,320.11

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 26,283百万円 29年9月期 25,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年9月期	—	10.00			
30年9月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	1.9	2,980	1.4	3,330	1.5	1,850	1.1	171.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	10,796,793株	29年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	1,885株	29年9月期	1,865株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	10,794,922株	29年9月期2Q	10,795,029株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産・雇用環境に持ち直しの動きがみられるなか、緩やかな回復基調が続いているものの、海外の政治情勢や経済の不確実性から先行きは不透明な状況が続いております。また、個人消費では、家計所得は伸び悩み景気回復実感は乏しく、消費回復の先行きは不透明で依然として停滞感が続いております。

小売業界におきましては、将来不安による消費マインドの停滞懸念脱却には至らず、消費者の根強い節約志向、社会保険料の負担増加や人手不足を背景とした人件費の上昇、多様化する消費者のライフスタイルに対応する業態を超えた競合の出店攻勢や販売促進の熾烈化など、経営環境はますます厳しくなっております。

このような環境の中、当社グループ(当社及び連結子会社)は、「食を通して健康になる」という当社グループコンセプト「Enjoy Life!」の考えを柱と定め、「商品開発」「基礎営業力の強化」「人財の育成」の3項目を重点取組項目とし、新しい小売業の店舗モデルへチャレンジしてまいりました。

「商品開発」では、新日本スーパーマーケット協会主催の「お弁当・お惣菜大賞2018」にて、全国各社5万件を超えるエントリーの中から当社開発商品が優秀賞2品、入選6品を果たしました。

また、アジア最大級の食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN」内にて発表される食の一大イベント「FOODEX 美食女子グランプリ2018」にて当社開発「極み五味十彩弁当」がミール部門において金賞を受賞致しました。その他に「モンドセレクション2018」では「自家製なめらかプリン」が2年連続銀賞を受賞しました。

「基礎営業力の強化」では、時間帯別において変わるお客様のニーズに的確にお応え出来るよう、商品の鮮度管理、品切れの防止、人員配置の適正化を進め、売場の完成度を高めてまいりました。

「人財の育成」では、平成29年よりスタートした「M3プロジェクト」(M3=My Mami Mart)を中心に、店舗・本部においてチーム作りをおこない、その取組報告会を実施することで、従業員一人一人がより主体的に経営へ参画する活動を進めてまいりました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおきまして、平成29年11月に八潮伊草店(埼玉県八潮市)、平成29年12月に野田山崎店(千葉県野田市)を開店しました。また、平成30年2月にテナントの入れ替えに伴う生鮮市場TOP増尾台店の改装を実施いたしました。当四半期末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め75店舗であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高52,428百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益1,840百万円(同1.8%減)、経常利益2,051百万円(同1.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,335百万円(同2.4%減)となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第2四半期連結累計期間は、売上高52,176百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益1,821百万円(同1.8%減)となりました。

[その他の事業]

売上高252百万円(前年同四半期比1.7%増)、営業利益18百万円(同5.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,644百万円増加し57,655百万円となりました。これは主に、店舗設備の新設及び新規出店用地の取得によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より404百万円増加し31,355百万円となりました。これは主に、借入金の増加、買掛金及び未払費用の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1,239百万円増加し26,299百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は2,244百万円(前連結会計年度末比156百万円の増加)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は1,251百万円(前年同四半期は2,402百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は2,464百万円(前年同四半期は5,600百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は1,368百万円(前年同四半期は3,461百万円の収入)となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月14日に公表いたしました「平成29年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,088	2,244
売掛金	933	982
商品	2,719	2,695
貯蔵品	19	13
繰延税金資産	305	305
その他	1,661	1,573
流動資産合計	7,727	7,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,034	11,987
機械装置及び運搬具(純額)	242	214
土地	20,909	22,659
リース資産(純額)	1,476	1,408
建設仮勘定	2,033	1,057
その他(純額)	1,480	1,471
有形固定資産合計	37,177	38,798
無形固定資産	140	141
投資その他の資産		
投資有価証券	328	329
長期貸付金	285	269
差入保証金	7,902	7,865
賃貸不動産(純額)	369	368
繰延税金資産	1,273	1,261
その他	805	804
投資その他の資産合計	10,965	10,900
固定資産合計	48,283	49,840
資産合計	56,011	57,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,137	9,392
短期借入金	470	70
1年内返済予定の長期借入金	3,395	3,914
リース債務	155	156
未払費用	2,809	2,307
未払法人税等	483	796
賞与引当金	438	453
その他	881	709
流動負債合計	18,771	17,801
固定負債		
長期借入金	6,969	8,405
リース債務	1,497	1,419
長期預り保証金	1,666	1,656
転貸損失引当金	93	74
役員退職慰労引当金	261	280
退職給付に係る負債	1,114	1,141
資産除去債務	568	570
その他	7	6
固定負債合計	12,179	13,554
負債合計	30,951	31,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	19,519	20,747
自己株式	△2	△2
株主資本合計	25,038	26,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	80
退職給付に係る調整累計額	△74	△63
その他の包括利益累計額合計	6	16
非支配株主持分	13	15
純資産合計	25,059	26,299
負債純資産合計	56,011	57,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	51,848	52,428
売上原価	38,146	38,282
売上総利益	13,701	14,145
営業収入	686	686
営業総利益	14,388	14,832
販売費及び一般管理費	12,514	12,991
営業利益	1,873	1,840
営業外収益		
受取利息	28	29
受取配当金	3	3
不動産賃貸料	102	131
受取手数料	102	105
その他	85	85
営業外収益合計	322	355
営業外費用		
支払利息	22	23
不動産賃貸費用	88	117
その他	9	3
営業外費用合計	120	144
経常利益	2,075	2,051
特別損失		
固定資産除却損	4	8
特別損失合計	4	8
税金等調整前四半期純利益	2,070	2,043
法人税等	699	705
四半期純利益	1,370	1,337
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,369	1,335

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	1,370	1,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	△0
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	79	9
四半期包括利益	1,450	1,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,448	1,345
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,070	2,043
減価償却費	901	912
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△681	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	47	42
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△19	△19
受取利息及び受取配当金	△32	△33
支払利息	22	23
固定資産除却損	4	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△82	△48
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△219	30
未収入金の増減額 (△は増加)	△10	64
仕入債務の増減額 (△は減少)	307	△744
未払費用の増減額 (△は減少)	△9	△532
その他	585	△128
小計	2,878	1,652
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△22	△18
法人税等の支払額	△481	△387
法人税等の還付額	22	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,402	1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,499	△2,491
無形固定資産の取得による支出	△13	△21
貸付けによる支出	△20	△0
貸付金の回収による収入	15	16
差入保証金の差入による支出	△543	△192
差入保証金の回収による収入	521	257
保険積立金の積立による支出	△31	△31
資産除去債務の履行による支出	△39	—
その他	9	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,600	△2,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,555	△400
長期借入れによる収入	3,500	3,900
長期借入金の返済による支出	△1,408	△1,945
リース債務の返済による支出	△76	△77
配当金の支払額	△107	△107
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,461	1,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	263	156
現金及び現金同等物の期首残高	1,890	2,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,154	2,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマ ーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	51,600	247	51,848	—	51,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	51,600	247	51,848	△0	51,848
セグメント利益	1,855	17	1,873	—	1,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマ ーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	52,176	251	52,428	—	52,428
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	52,176	252	52,428	△0	52,428
セグメント利益	1,821	18	1,840	—	1,840

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。